

一般会計当初予算

264億1,900万円

(対前年度比4.8%減)

特別会計 101億8,667万円 (対前年度比△0.03%)

国民健康保険や農業集落排水事業など事業目的を限定し、保険料や使用料など、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計と区別した会計です。

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	49億7,739万円	2.1%
後期高齢者医療	4億5,715万円	3.6%
介護保険	46億6,571万円	1.3%
農業集落排水事業	1,228万円	△6.4%
宅地開発事業	682万円	△18.0%
あづち大島いさりびの里事業	1,262万円	5.9%
駐車場事業	470万円	6.8%
工業団地事業	5,000万円	123.8%

企業会計 47億2,177万円 (対前年度比△2.9%)

地方公共団体の行う事業のうち、民間企業のようにその事業の収益で経費を賄って事業経営を行う会計です。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	17億4,286万円	△2.2%
病院事業	27億1,983万円	△4.3%
交通船事業	2億5,908万円	9.0%

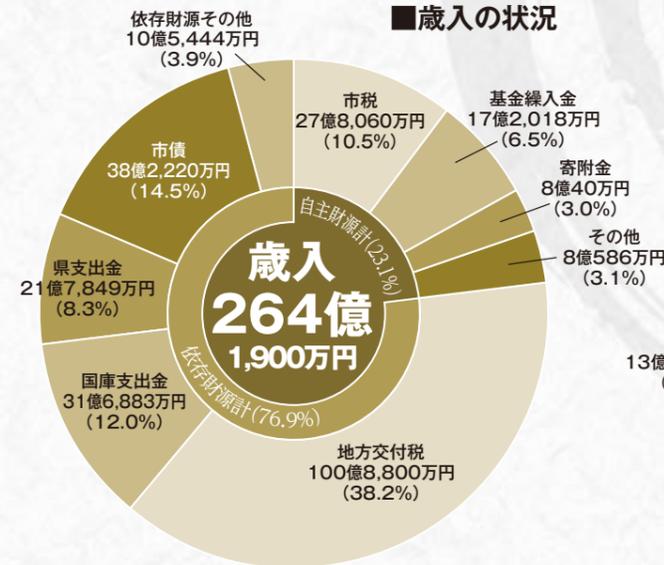
当初予算額の推移(百万円)



今年度は事業の見直しや予算の重点化を図り、昨年度と比較すると歳入歳出総額13億2,400万円の減少となり、歳入不足を補うための財政調整基金の取り崩しも3億8,500万円の減少となっています。

今後は少子高齢化などに伴う社会保障費の増加や、ニーズの多様化による事業費の増大が見込まれる中、本市の歳入の4割程度を占める地方交付税の縮減などにより、一層厳しい財政運営が予想されます。このことから、引き続き徹底した既存事業の見直しや、公有財産の売却促進、積極的な市債の繰上償還などさらなる財政健全化を図り、市民サービス向上のため財源をしっかりと確保しながら、長期的な展望で本市の将来像を捉えて「夢あふれる未来のまち平戸」に向かって取り組んでいきます。

■歳入の状況

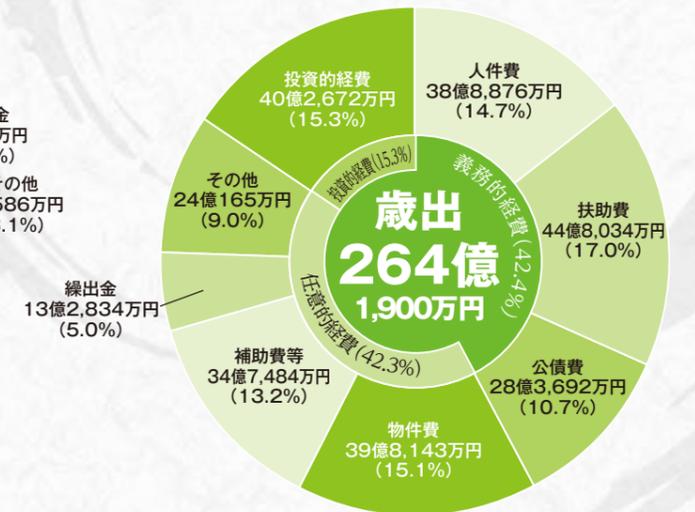


自主財源・・・自主的に調達できる財源
(61億704万円)

依存財源・・・国又は都道府県から交付される収入
(203億1,196万円)

※各項目の金額は単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

■歳出の性質別分類の状況



義務的経費・・・支出することが制度的に義務づけられている経費
(112億602万円)

任意の経費・・・市が任意に支出できる経費(111億8,626万円)

投資的経費・・・道路や施設など、支出の効果が将来に残るものに支出される経費(40億2,672万円)

市民1人当たりの予算額 85万5,981円

(対前年比2万5,897円の減)

※人口30,864人(令和2年3月1日現在)で計算

総務費 	民生費 	衛生費 	農林水産業費 	商工費
土木費 	消防費 	教育費 	公債費 	その他

重点施策の推進と市民の安全 安心の確保

当初予算総額は264億1,900万円となり、対前年度比4.8%減の堅実でありながら、重要施策と市民の暮らしに重点をおいた予算となりました。

第2期平戸市総合戦略の策定

重要施策としては、平戸城懐柔櫓を宿泊施設としてリニューアルしPR展開する平戸城誘客対策プロモーション事業などの観光地力向上をはじめ、市内高校の魅力化および人材育成対策として未来を担う人材創出事業や、地場企業就職促進事業による産業人材育成、また、スマート農業の先進地視察などを行う農業産地力向上対策事業、戦略的な水産物販売を効果的に進めるための水産物流通改善対策事業により農林水産業強化に取り組みます。

さらに、近年発生している人口減少抑制を目指した第1期平戸市総合戦略は、令和元年度までの計画年度でありましたが、引き続き人口減少が進行する中、地方創生の充実・強化に向け、「継続を力にする」という姿勢でさらに取組みを進めていくため、「第2期平戸市総合戦略」を新たに策定し、重要施策の目標達成に向け積極的な予算配分を行いました。(12ページで主要な事業を紹介しています。)

大型災害にも対応するため、総合ハザードマップの作成や、デジタル防災行政無線の整備事業などに予算を計上し、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりに努めます。

その他の主要な新規事業



平戸城大規模改修事業 … 2億1,240万円

平戸の観光のシンボルである平戸城の大規模改修事業(平成30年度～令和2年度)



生月出張所消防庁舎整備事業 … 2億717万円

生月出張所消防庁舎(昭和50年築)の新庁舎建設



路線バス再編整備事業 … 2,500万円

地域交通網再編に伴うバス車両の整備およびバス事務所整備



大野地区ふれあい広場整備事業 … 4,100万円

旧大野ごみ処理施設の解体および跡地の広場整備工事



放課後児童クラブ整備事業 … 6,559万円

(仮称)南部地区放課後児童健全育成施設整備



平戸城誘客対策プロモーション事業 … 2,679万円

平戸城懐柔櫓を宿泊施設としてリニューアルしメディアを活用したPRを展開

ゼロ予算事業の紹介

ゼロ予算事業とは新たな予算措置を伴うことなく、職員一人一人の積極的な創意工夫や新しい発想のもと、市民サービスの充実を図る事業のことです。(下記の他、全24事業をゼロ予算で実施します)

移住者交流事業

平戸にある農水産物等を使った料理や、ものづくり体験を交流会で行うことによって、平戸ならではの楽しみ方や平戸の魅力を発信していく場として開催します。

延長窓口開設事業

平日開庁時間内に来庁出来ない人に、本庁市民課で予約による証明書交付などの対応を行い、市民の窓口利用の利便性向上を図ります。

ハローワークin平戸開催事業

長崎労働局と連携して、毎月2回、就職相談を開催します。市内の就職者数の増を目指します。

平戸学講座開催事業

文化交流課職員により、歴史や文化財に特化した講座を開催。情報や学習の場を提供することにより、市民の学習意欲の向上、平戸に誇り・興味・関心を持つ人材の育成を目指します。

ふるさと教育プログラム実施事業

平戸高校におけるふるさと教育やキャリア教育の一環として、市長による講話をシリーズとして実施します。

フードバンク事業

企業や一般家庭からまだ食べられる食品を譲り受け、生活困窮で食料を購入できない人などへ緊急一時的な支援を行います。

水産教室開催事業

市内小中学生などを対象に、地元で獲れる魚やその調理方法などを学ぶ機会を設け、学習することで漁村文化の継承と魚食普及を目指します。

若者応援相談会開催事業

若者サポートステーションと連携して、引きこもりからの社会復帰など、終了に向けた相談会を開催します。

『ずっと住みたいまち』の創造に向かって

総合戦略では、「雇用の促進」「産業の振興」「子育て支援」「定住・移住の促進」の4つの基本目標を設定し、令和2年度はさらに予算の重点化を図りました。ここでは、第2期平戸市総合戦略に基づき、今年度実施する多くの事業の中から主要な事業を紹介します。

雇用の促進

～しごとをふやすプロジェクト～



中小企業等設備投資・創業支援対策事業 …… 3,900万円

市内中小企業などの経営力強化や事業拡大に資する設備投資経費および新規創業者に対する補助を行います。

創業支援対策事業 …… 3,321万円

創業にかかる中小企業創業支援資金の預託、保証料補給および創業セミナーを開催します。

産業の振興

～しごとをのばすプロジェクト～



平戸式もうかる農業実現支援事業 …… 6,325万円

新規就農者の確保・育成や、新たな園芸品目の産地化および肉用牛の生産体制強化のための施設整備などに対する補助を行います。

新水産業経営力強化事業 …… 3,402万円

漁業所得向上を目指し、経営改善計画の達成に向けた漁船用機器などの整備に関する支援や市内漁協などの生産、流通、経営基盤の整備に対し補助を行います。

子育て支援

～ひとをそだてるプロジェクト～



ICT教育環境整備事業 …… 3,846万円

市内小中学校に平戸市ICT教育ビジョンに基づいたICT機器を整備します。

地域子育て支援拠点事業 …… 2,079万円

乳児や児童およびその保護者が互いに交流できる場所(ひろば)を開設し、子育て支援を実施します。

定住・移住の促進

～まちをつくるプロジェクト～



移住定住環境整備事業 …… 3,397万円

移住者や定住者の新規住宅取得などに対する補助や移住コーディネーターによる相談支援などを行い、移住定住を推進します。

コミュニティ推進事業 …… 1億5,549万円

小学校単位を基本としたまちづくり運営協議会に、まちづくり計画の策定支援やまちづくり交付金を交付し、地域住民主体のまちづくりを推進します。